



ともしび通信

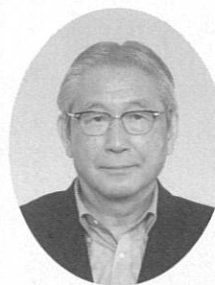
vol.98

2019年1月発行

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3番20号(生活文化センター西館2階)
TEL.078-412-3930 FAX.078-412-3871 <http://www.tomoshibi-found.or.jp/>
発行人：山口 一史 編集人：山口 健治

♡「ともしび通信」の発送は、ボランティアのみなさんにご協力いただいています。

眠れる獅子が そこに6割も



理事長
山口 一史

新年あけましておめでとうございます。今年もみなさんに良いことがたくさんありますようにお祈りしております。

財団はいま、これから先五年間の行程表となる第三次中期計画の策定作業に取りかかっています。日本の先行きがあまり芳しくない中で私たちのくらしや市民活動を占うわけです。作業をさせていただいたデータを見つめました。

それは内閣府の調査で、「ボランティア活動に関心がある」と答えた人が五九・六%もいるのに、実際にボランティア活動をした人は一七・四%しかないなかつたという数字です。関心があるのにしなかつたのは、仕事が忙しかったり、参加しようとしたがうまくタイミングが合わなかつたりなどの理由があるのでしょう。ですから、この数字に決して悲観的になることはありません。

時間や機会があれば活動に乗り出す「候補者」がこんなにそろっているのです。この人たちが足を一歩踏み出す条件を考えるのも私たちの仕事なのです。

福祉、子育て、災害救援など多くの分野で「担い手不足」が心配されています。ボランティアをしたい、とうとうずうずうしている人が六割もいることから目をそらしてはもったいないですよ。

やさしさにありがとう
ひょうごプロジェクト
賛同企業
コラボイベント



ともしび×伊藤ハム 山仕事プチ体験

11月18日(日)、当プロジェクト賛同企業コラボイベント第2弾となる「ともしび×伊藤ハム 山仕事プチ体験」を、再度山公園で開催しました。秋晴れの紅葉美しい中、抽選で選ばれた約50名が参加しました。

伊藤ハム様は、市民・行政・企業が協働して、六甲山の森林保全活動を行う「こうべ森の学校」を支援されています。森林を手入れすることによって、光が林床にさしこみ、下草や低木の育成も可能になり、高木～低木、草花などたくさんの種類の植物が生育できる環境になります。

当日は、森の学校ボランティアスタッフ20名のご協力をいただきました。午前中は、参加者全員で森の手入れ(樹木の除伐)を、午後からは、木工細工、自然観察、外

国人墓地見学、森の手入れの4班に分かれて活動を行いました。昼食は、伊藤ハム様特製のポトフと、サラダチキンやハムの試食をいただきました。

参加者からは、「ボランティアの方々の働きで、森の環境が維持されていることを初めて知りました」、「自然と親しむことが、楽しいことだと感じた」、「ポトフ、美味しかった!」などの感想をいただきました。また、当財団への寄付を頂戴しました。



「こうべ森の学校」ボランティア活動に関することは
http://kobe-mori.jp/morigaku_hp/ まで